

## 2023 年度第 7 回執行理事会議事録

日程：2024 年 1 月 20 日（土）13:00-15:30 【WEB 会議】

出席：岡田 誠，杉田律子，星 博幸，中澤 努，緒方信一，内尾（保坂）優子，内野隆之，尾上哲治(15 時より)，加藤猛士，亀高正男，小宮 剛，坂口有人，高嶋礼詩，辻森 樹，松田達生，矢部 淳，山口飛鳥，桑野太輔（若手活動運営委員会）

監事：山本正司，岩部良子

欠席：狩野彰宏

事務局 澤木

\*定足数（過半数：10）に対し，執行理事 17 名の出席

\*前回 23-6 議事録案について本執行理事会にて承認された。

### 報告事項

#### 1. 全体的報告

- ・名古屋大学宇宙地球環境研究所より令和 7 年度からの国際共同利用・共同研究拠点申請に係る要望書提出の依頼があった。依頼に応じ，期日までに要望書を提出する。

#### 2. 運営財政部会（亀高・加藤）

##### 1) 総務委員会

<共催・後援依頼，他団体の募集，連絡等>

- ・第 23 回こどものためのジオ・カーニバル（地質学会後援）の実施報告があった（2023/11/4-5；14 ブース出展，参加者 3,136 名）。なおジオ・カーニバルは本 23 回をもって一旦終了の旨，あわせて報告があった。
- ・新潟大学旭町学術資料展示館企画展示「みんなの石」展（地質学会後援）の開催報告があった。2023/7/19-8/31 開催，参加者 589 名。
- ・文科省より「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第 3 次）の推進について（建議）（2023/12/22 付）の報告があった。地質学会からもパブリックコメント募集の際にコメントを提出している。建議内容を確認し，反映状況等検証することも必要との意見があった。

<会員>

##### 1. 今月の入会者：3 名

2023 年度から入会：ジュニア会員（1 名）佐藤希望

2024 年度から入会：正会員一般（1 名）西川尚之，正会員学生（3 年バック：1 名）橋本優子

##### 2. 今月の退会者：2 名

正会員一般（2 名）池田達也，加藤真由子

##### 3. 今月の逝去者：4 名

正会員シニア（4 名）下西繁義（逝去日：2023 年 1 月 5 日），野田浩司（逝去日：2023 年 7 月 14 日），

八木下晃司（逝去日：2024 年 1 月上旬(日付不明)），平野昌繁（逝去日：2024 年 1 月 16 日）

##### 4. 2023 年 12 月末会員数

賛助：31，名譽：34，ジュニア会員：3，正会員：3209 [うち一般 2153，シニア 843，学生 213] 合計 3277  
(昨年比-23)

<会計>

- ・ 第 23 回地震火山地質子どもサマースクール吉野川実行委員会より，当該行事（2024/8/7-8；徳島県三好市）に対する負担金（20 万円）の請求があり，納入した。

<その他>

特になし

### 3. 広報部会（内尾・松田）

#### 1) 広報委員会（内尾）

- ・ フォトコンテスト受付が 1/31 で締切。一次審査はオンライン。二次審査 2/19 を予定。写真雑誌や公募雑誌にフォトコンの案内が掲載されていることもあり，高いレベルの応募が増えている。
- ・ 学会 HP リニューアル事業について，12/18 に業者 (soubun.com) と打合せ，概算見積を確認した。見積は、扱うページ数で変動する。学会業務に精通しておりこの会社に依頼することとして進める。今年度内に正確な見積を出し，来年もっとも HP が活用される年会前までに完了させたい（業者による実作業は 3 か月程度を予定）。今後の詳細スケジュール・内容を詰める。

### 4. 学術研究部会（辻森・尾上・高嶋・山口）

#### 1) 行事委員会（高嶋・山口）

- ・ 2023 京都大会（高嶋）：
  - 巡検案内書編集状況：A「京都盆地-奈良盆地断層帯」修正原稿が未投稿，B「山陰ジオパーク」未投稿，E「但馬地域の舞鶴帯南帯」12 月 22 日に受理。A コースは 4 月以降に投稿見込み。B コースは困難。
- ・ 2024 山形大会（高嶋）：
  - 大会開催通知，トピックセッションの募集開始（3/27 締切）をニュース誌 1 月号に掲載した。
  - 巡検案内書編集委員会発足（委員長：山崎 誠，委員：大場 司，星出隆志，根本直樹，西川 治）。1/19 原稿締め切りで，案内書原稿の投稿が順次開始された。投稿は 3 件（A コース蔵王山，B コース西藏王，C コース地すべり）。
  - 業界説明会の会場についてより広い会場の準備を LOC に再検討して頂いている。
- ・ 2025 熊本大会（高嶋）：
  - ・ 地質情報展の会場（熊本市立博物館を予定）の情報などが，LOC に連絡が入っていない。LOC，情報展担当者。熊本市博等の連絡，連携体制を確認してもらいたい。
- ・ ショートコース（山口）：
  - 第 10 回ショートコース：海底鉱物資源を 2/25 に開催する（講師：中村謙太郎，町田嗣樹）。受講者募集中（申込締切 2/16）。第 11 回目は微化石（4 月），第 12 回は年代測定（6 月）を検討中。

#### 2) 専門部会連絡委員会（尾上）

特になし

#### 3) 国際交流委員会（辻森・岡田）

- ・ IGC2024 への対応について：12 月に公開された 3<sup>rd</sup>circular に，East Sea 表記が散見される。学会からの support letter は撤回し，その後状況は変わっていないため特に対応はしない。

#### 4) 地質標準化委員会（内野）

- ・ 1/23 に産総研で次期 JIS 検討 WG 会議が開催される。地質用語について、現在非常用漢字は平仮名書きにしているが、広く流布しているものについては漢字に置き換える予定。時代を修飾する前期や後期の配置について、公式・非公式区分にかかわらず時代名の前に付記する予定。

### 5. 編集出版部会（狩野・小宮）

#### 1) 地質学雑誌編集委員会（小宮）

##### (1) 編集状況報告

- ・ 2023 年投稿論文：57（昨年比-12）〔内訳〕総説 1（和文 1），論説 27（和文 26，英文 1），ノート 3（和文 3），レター 9（和文 9），報告 5（和文 3，英文 2），フォト 2（和文 2），討論 1（和文 1），巡検案内書 9
- ・ 査読中：19，受理済み：4，入稿・校正中：3（2024 年 1 月 19 日現在）
- ・ 129 巻：公開済み 51 件（671 ページ）+訂正記事 2

#### 2) Island Arc 編集委員会（狩野）

##### (1) 編集状況報告

投稿システムが最新のものに変更される予定である。Submission の仕組みが改善される予定。投稿状況はなかなか増えないので今後も改善していきたい。

#### 3) 企画出版委員会（松田）

特になし

### 6. 社会貢献部会（坂口・矢部・内野）

#### 1) 地学教育委員会（坂口）

- ・ 1/13・14 に大学入学共通テストが実施され、平均点の中間集計が発表された。理科①「地学基礎」は 73 点で他の理科学科より高い。受験者は 14,000 人で物理よりも多い。理科②「地学」は 59 点で物理に次いで高得点。平均点が上昇しており、これまでの学会からの要請が反映されたと一定の評価をしている。

#### 2) 地質技術者教育委員会（坂口）

- ・ 2022 年人材動向調査結果をニュース 1 月号掲載した。
- ・ 2023 年キャリアビジョン誌発行。各大学に 1 月期に配布済み。99 社掲載（うち賛助会員 23 社）。収入は 246 万、黒字が 165 万と昨年度よりも増収。学生の専門移行時に学生の将来の情報提供として有用なメディアとなっている。
- ・ 第 4 回 JABEE オンラインシンポ（3/3WEB 開催）。テーマは、大学縮小の中で社会の要求にどのように応えるか。

#### 3) 生涯教育委員会（矢部）

- ・ ニュース誌での連載記事「博物館・ジオパークで地球を学ぼう！」を 1 月号より北海道・東北支部の各機関に依頼して開始した。

#### 4) 地震火山地質こどもサマースクール（星）

- ・ 三学会連企画委員会（2023/12/10 開催）報告。平塚大会で余剰金があり、学会への還付がある予定。2024 三好大会について 20 万の拠出金を支払い済み。外部からの助成金を申請予定。スタッフ人数が参加者数に比べて多い状況が依然として続いているため、運営方法について引続き改善策を検討中。

5) 地質の日 (矢部)

- ・ 街中ジオ散歩は、麻布台地周辺での地形と湧水をテーマに開催予定。1月28日に下見を行う。案内者は宮越昭暢氏(産総研)・林武司氏(秋田大)。
- ・ 別途一般市民向けオンライン講演会の検討も進める。ジオ散歩と講演会の日程が重ならないように配慮していきたい。

7. その他執行理事会の下に設置される委員会及び組織

1) 利益相反マネジメント委員会 (中澤)

特になし

2) 若手育成事業検討WG (内野)

- ・ 2024年度研究奨励金の募集を開始し(募集期間:2024年1月1日~2024年2月29日)、HPにFAQを追加した。

3) 表彰制度検討WG (中澤)

特になし

8. 理事会の下に設置される委員会

1) ジオパーク支援委員会 (矢部)

特になし

2) 地学オリンピック支援委員会 (坂口)

特になし

3) 支部長連絡会議 (杉田)

特になし

4) 地質災害委員会 (松田)

- ・ 令和6年能登半島地震の関連情報を学会HPに掲載した。
- ・ 防災学術連携体「令和6年能登半島地震・1ヶ月報告会」(1/31オンライン開催)で、地質学会から、岡村行信会員(産総研)に発表いただく。タイトルは「能登半島周辺海域の活断層」

5) 名誉会員推薦委員会 (星)

- ・ 2024年度名誉会員候補者推薦を依頼中(2/9締切)。

6) 各賞選考委員会 (中澤)

- ・ 選考作業中

7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会 (辻森)

特になし

8) 連携事業委員会 (中澤)

特になし

9) 法務委員会 (中澤)

特になし

10) 若手活動運営委員会 (桑野)

- ・ 地質系業界オンライン交流会の準備状況の報告があった。2/16に交流会を開催予定。今回は企業だけでなく、ジオパーク、産総研といった研究・調査業務をされている方にも出席頂く予定。参加者は35歳以下の学生・若手研究者を対象とする。非会員も参加可能としているため、入会も呼びかける。今後は地質

技術者教育委員会との連携，他学会への協賛や広報の強化についても検討する。

## 9. 研究委員会

### 1) 南極地質研究委員会（委員長 大和田正明）

特になし

### 2) 法地質学研究委員会（委員長 川村紀子；杉田）

特になし

## 10. その他

### 1) 選挙管理委員会（代理中澤）

- ・ 1/15 に正副会長意向調査の開票を行った。理事会からの要請により意向調査期間の延長を行う（2/7（水）17時締切）
- ・ 調査期間延長については，より投票を呼びかけるために，geo-flash に単独情報として掲載し，締切まで複数回発信する。次回以降の意向調査はニュース誌に会長副会長マニフェストを同封して送付するなど，会員への情報周知の方策を工夫する。

## 審議事項

### 1. 能登半島地震に対する本学会の対応について（星）

- ・ 3-4月にオンラインでの速報会，9月山形大会でシンポジウム，地質学雑誌または査読付き論文集で特集号を組む提案について議論した。学会としては，地質学会が得意な視点での報告会や講演が良いと考え，9月山形大会でのシンポジウムを開催する。発表者や発表数などについては3月下旬を目処に決定したい。会場は山形大学小白川キャンパス。一般公開とはせず，専門家向け学術シンポとする。地質災害委員会と行事委員会が連携して準備を進め，執行理事会が確認する。特集号は冊子体の作成も含めて検討を進める。速報会については，今後の状況を見て検討する。
- ・ 地質の日のオンライン講演会は，今回の地震，地殻変動，地質災害などについての解説を扱うことを検討する。
- ・ 能登半島地震についても，災害救助法適用地域で被災した会員に対する会費減免措置の対応を取る（要申請）。

### 2. その他

新会員システムへの切り替えに伴い，従来の専門部会内のMLシステムが廃止された。今後はメルマガ形式のメール配信となる。ML廃止についての事前周知がされていなかった。該当会員にはメールで早急に周知する。

## 監事コメント

（岩部監事）意向調査の投票率の低下は，会員が新しいシステムに習熟しておらず，ログイン操作自体うまくできないケースが複数あったことが一因と考える。意向調査だけでなく代議員当選者の情報も認識されていない可能性がある。会員システムは，有効かつ必要なログインシステムであり，今後は普段からより多くの会員にアクセスして頂くため，HP会員ページに会員にとって重要または魅力ある内容を格納する等，会員ページの情報充実についても検討して頂きたい。

(山本監事) 今回の意向調査の投票数が極端に少ないことは問題である。会員が使いやすいシステムであるよう改善を続けて頂きたい。

以上

2024年2月17日

一般社団法人日本地質学会

会長(代表理事) 岡田 誠

署名人 執行理事 中澤 努